

複数学年での導入例1

1年生の秋に翌年度の科目選択を行います。生徒が将来の職業、進路を考えた上で文系・理系や、科目を選択するように、そして高校生活の中で、社会人として必要な知識やスキルを身に付け、社会の変化に対応して新たな価値を創造していく総合力を培うことを目的として、2年間の総合的な学習の時間「キャリアガイダンス(CG)」を実施しています。

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	大学生と高校生活を考える 高校紹介を聞く 職業人インタビュー	大学生に聞く大学の学び	新1年生に高校を紹介しよう
2 年	新1年生に高校紹介	進路調べオープンキャンパス	クエストエデュケーション

それぞれのプログラムでは、大学生等のプレゼンテーションを見ること、グループで話し合い、プレゼンテーションをすることが組み合わさっています。プレゼンテーションをする時には、互いに評価し、良かった点、改善できる点をカードにして伝え合うことで、次にはどのように工夫すれば良いかを考え、挑戦できる機会が設定されています。

計画・進行は、教員のキャリアガイダンス(CG)部が担当。各クラスの進路係が、授業前にCG室に集まり、打合せを行う。そして進路係がクラスでその日の内容を説明し、進行する等、生徒が自分たちで考え工夫する場面が、多数設定されています。



複数学年での導入例2

「キャリア教育で未来を拓く」をスローガンに、総合的な学習の時間「キャリアデザイン」を中心に、進路指導、部活動、行事等の全ての教育活動で進路実現・進路決定につなげて指導しています。

	1 学期	2 学期	3 学期
1 年	大学生と高校生活を考える 職業理解	コミュニケーションワークショップ(4回)	金銭基礎教育
2 年	大学生と進路を考える(2回) 進路セミナー	ロールプレイ模擬面接(4回)	金銭教育(奨学金等)

1年生の「キャリアデザインⅠ」のテーマは、『高校生活の基礎を形作る～「自分を知る・社会を知る」』です。夏休みに行う職業人インタビューの前には、複数の専門学校による職業理解を進めるプログラムを実施し、働くことについて考える機会をつくります。2年生の「キャリアデザインⅡ」は「自分を定める・職業を考える」がテーマ。同じ色のプログラムは、同じ団体が実施しているものです。同じ団体が二つの学年で、違うプログラムを実施することで、団体の学校理解が進み、学びが深まるような内容で実施することができています。

それぞれのプログラムでは、企業・NPO等が実施する授業の前後の時間に、事前学習や振り返りの時間をとっています。例えば、4回で行うコミュニケーションワークショップでは、途中の総合的な学習の時間に、教員による指導の回を入れ、遊び的な感覚になりがちなプログラム内容が、社会人となるための基礎的な力を付ける意味があることを改めて指導しています。

定時制高校での導入例1

教員の希望

進学と就職が半々の定時制。これまでに学校生活になじめなかった生徒も多いため、社会人マナー等を身に付けながら、自分の適性について考えさせ、進路選択につなげたい。特に、他者との関わりを通して協調性を身に付けさせたいので、ワークショップ形式、グループ学習などで学校外の職業人と接する機会のあるプログラムを実施したい。

1 学期	2 学期	3 学期
キャリア講演会 コミュニケーション ワークショップ（5回）	ビジネスプランコンテスト（7回） 社会人基礎力 ワークショップ	

ビジネスプランコンテスト

ターゲットのニーズに応えられる商品・サービスのアイデアを考える活動を通して、チームで協力して最後までやりきること、自分と異なる人の立場に立って考える力を身に付けることを狙いとしているプログラム。

他校では、企画案についての評価を、クラスメイトの投票や、社会人からのコメントとして実施しています。この高校では、文化祭の前後の日程で授業を設定し、チームの企画案を文化祭の来場者にも投票してもらい流れで実施。企画案の内容や、企画書を分かりやすく書くなど、生徒が評価者をかかなり意識して作成しました。



定時制高校での導入例2

教員の希望

この事業が定時制高校でも実施できるか不安があったが、他校の定時制でも実施していると聞き、昨年度に一つの団体のプログラムを実施。団体に親身になって取り組んでいただき、生徒は予想以上に授業に積極的に参加した。年間を通して他のプログラムも実施してみたい。

1 学期	2 学期	3 学期
チームコンセンサスワークショップ 大学生 講演会（2回） 社会人 講演会	大学生・社会人との交流会 職業について考える ワークショップ	好奇心からつながる仕事マップ

を昨年度からの団体が実施。複数回参加する社会人や大学生が多く、何を感じたか、どう行動してみたか等、生徒からの発言が増えました。

大学生や社会人の講師は、講師候補者のリストを基に学校と相談し、様々な困難を乗り越えた経験を話すことができる若手の講師に依頼しました。

イベント型プログラムを出張授業型で実施

「専門学校コンソーシアム Tokyo」は、10の専門学校が加盟する団体です。毎年夏に加盟校が設置した体験コーナーで様々な仕事を体験できる「Tokyoしごと倶楽部」と題したイベントを開催しています。団体では、この内容を出張授業型に工夫し、高校の体育館や複数の教室を体験コーナーとして、加盟校の講師や卒業生による仕事の紹介と、体験ができる職業理解教育プログラムにしました。昼間のイベントには生徒の参加が難しい定時制高校でも実施し、生徒たちは自分の関心がある仕事を体験しながら、楽しさや難しさ、必要なスキルについて等の質問をしていました。



3DCGクリエイターの仕事を体験